

事業シート（概要説明書）

様式1号

① 事業名	交通対策事業	総合計画体系	章	04安全安心都市	節	08交通体系
② 細事業名	モックルコミュニティバス運行事業	担当部・課	都市建設部 交通政策課		事業開始年度	平成14年度
		根拠法令				

③ 事業内容 (手段・手法など)	市役所や市民交流センターなどの公共施設を経由して市の南北を結ぶモックルコミュニティバスの運行経費と運賃収入の差額を交付。								
④ 目的 (何のために)	バス路線ネットワークの充実によるバス利用者の増進及び、主要公共施設へのアクセス性の向上。								
⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に)	市民及び市外在住者(利用者数 平成22年度:56,411人)								
⑥ 現在の実施方法	外部委託 ※委託業者は右記詳細のとおり (詳細:南海バスへの委託)								
⑦ コスト	平成23年度予算		直接経費(A)の内訳						
	直接経費(A)	19,022 千円	・モックルコミュニティバス運行負担金:16,622千円 ・河内長野市地域公共交通会議負担金:2,400千円【モックルコミュニティバスの上限200円運賃の試行運行実施に伴う経費(市:1,200千円、国:1,200千円)】						
	人件費(B) ※(C)+(E)	826 千円	内	担当正職員:概算人件費(C) (H22決算平均給与8,260千円×従事職員数)	826 千円	従事職員数(D)	0.1 人		
			訳	臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費(E)	千円	従事職員数(F)	人		
総コスト (A)+(B)	19,848 千円		財源内訳(収入)						
		国・府からの補助金等	1,200千円	使用料・手数料		一般財源(市債含む)	18,648千円	その他	
⑧ 対象事業の抽出の視点 (選考優先順位)	◎ 見直しを検討している事業								

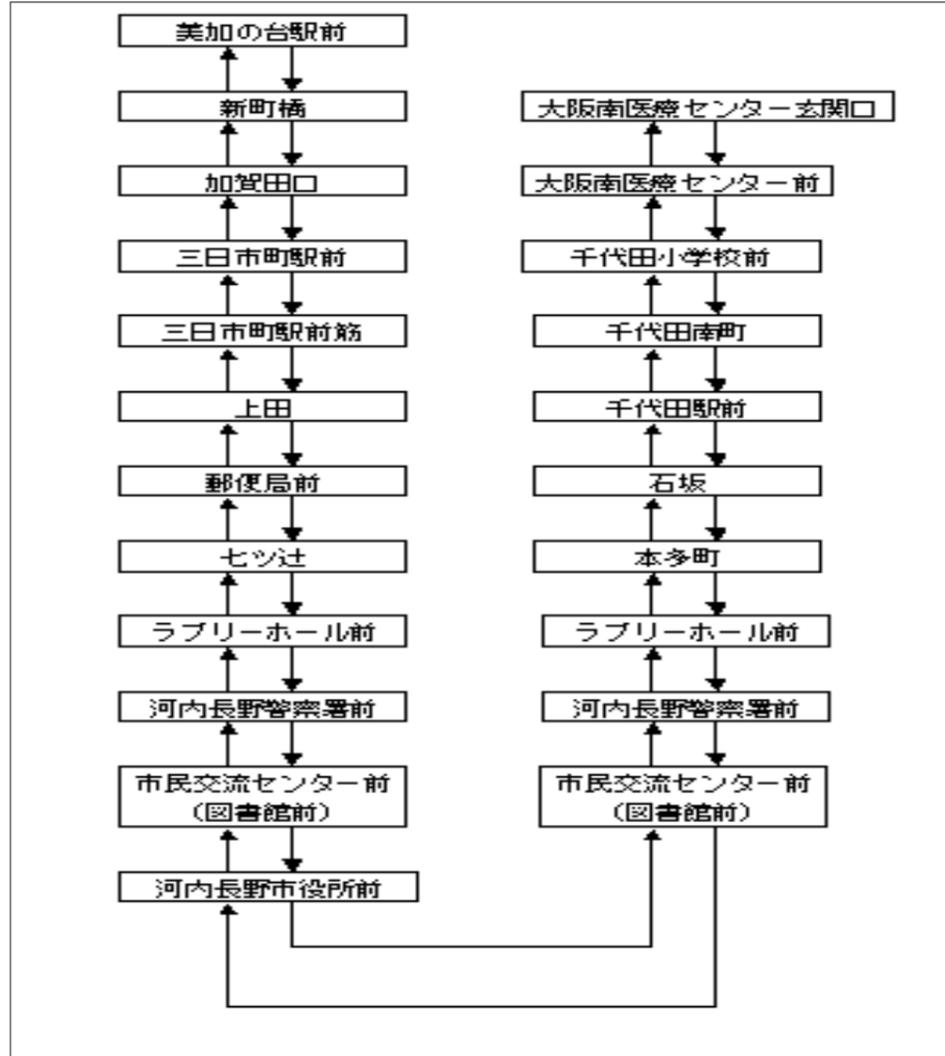
⑨ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入	利用者数を増やし、運行経費負担金の削減を図る。						
⑩ 事業の現状	平成22年度より上限200円運賃の試行運行を実施しているが、実施に伴う経費負担を賄えるほど利用者数は増加しておらず、平成21年度より経費負担は増えている。(平成22年度利用者数の対前年比105%) ※参考:モックルコミュニティバス以外に、路線バスの岩湧線、日野・滝畑コミュニティバスにも経費負担をしている。						
⑪ 目標と現状の差 (課題) ⑨-⑩	上限200円運賃の試行運行結果を踏まえ、適正な運賃を検討する。						
⑫ (⑪の課題の解決策と問題点)	市側の事前論点 【解決策】 ①モックルコミュニティバス運行負担金の削減(上限200円運賃をもとに戻すもしくは値上げ) ②モックルコミュニティバス運行負担金の継続(上限200円運賃の継続) ③モックルコミュニティバス運行負担金の増額(上限200円運賃の値下げ) 【論点】 ①の解決策については、市の負担金削減が図れる。そのためには、上限200円運賃をもとの運賃に戻すかもしくは値上げを行うとともに、試行運行前の平成21年度以上の利用者数を確保しなければならない。 ②の解決策については、現状から考えると一定の利用者数を確保できると考えられるが、市の負担金は変わらない。 ③の解決策については、上限200円運賃を更に引き下げることにより、利用者が増やすことができると考えられる。しかし、それに伴う経費負担の増加を賄えるほど、利用者が増えるとは考えにくく、市の負担金は更に増える。 【留意点】 ・利用者数が増えるということは、運賃収入が増えるという金額面での視点だけで捉えるのではなく、人の移動が増えることによる、まちの活性化や高齢者の外出機会の増加による健康面での効果(数値化するの難しいが)などについても考慮しなければならない。			➡	最終論点 ※ 事前概要説明会開催後に記入		

様式2号

○モックルコミュニティバスの運行内容の概要【モックルコミュニティバス運行事業】

- ・運行期間 年末年始（6日間）を除く毎日
- ・運行回数 美加の台駅前発（8便）
大阪南医療センター玄関口発（8便）

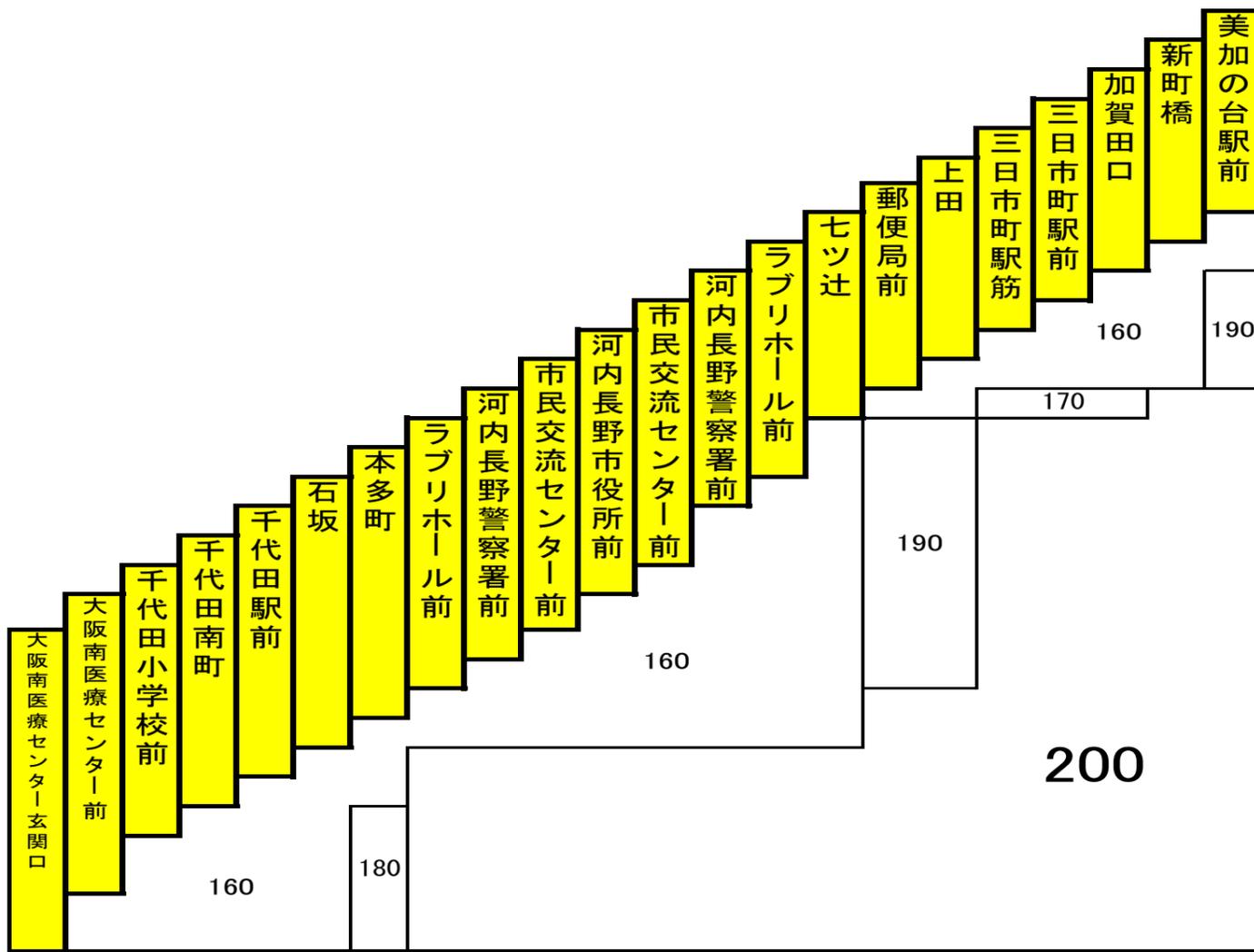
・運行経路及び停留所



・運行時刻

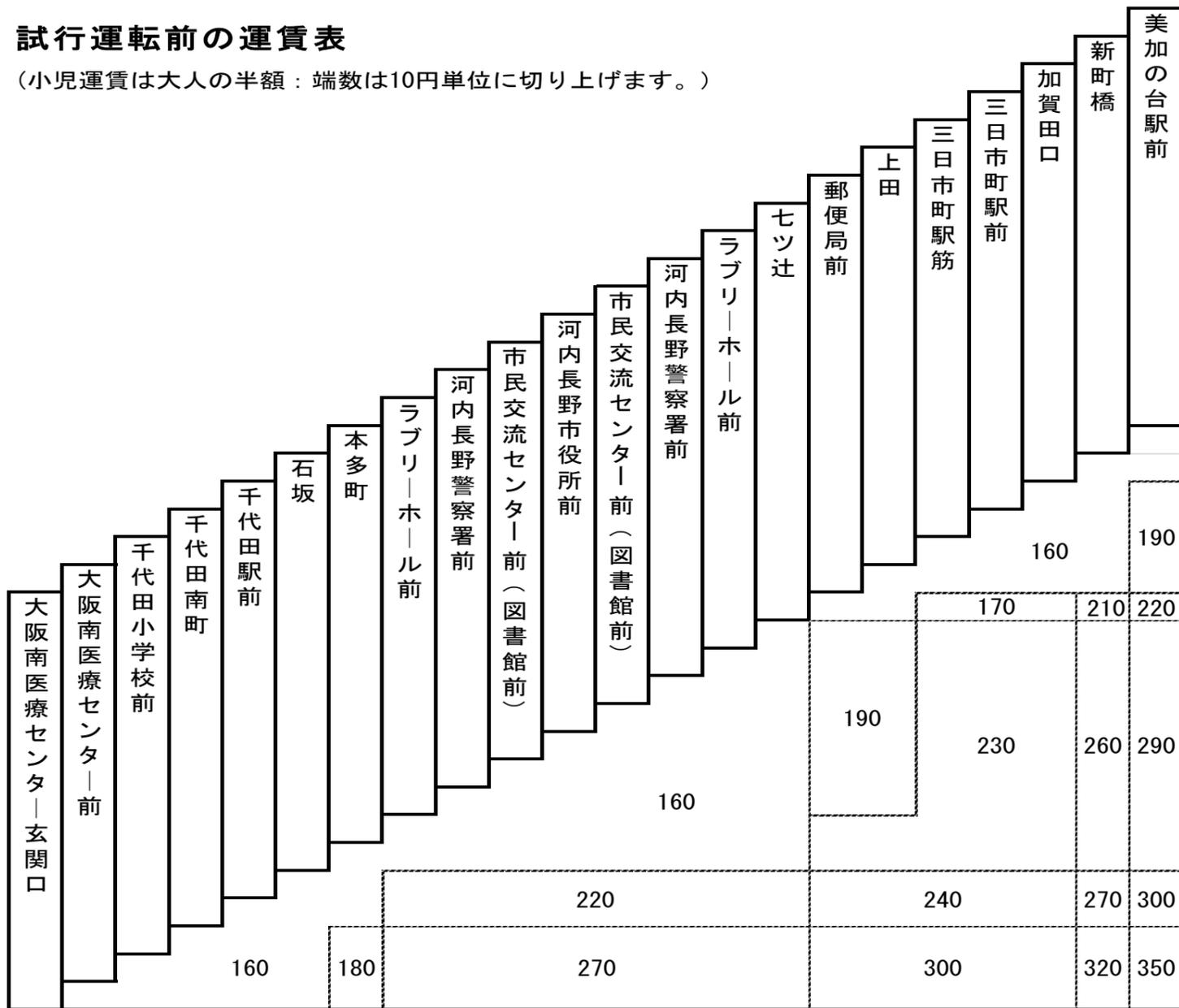
時間	行先	大阪南医療センター玄関口発	美加の台駅前発
		美加の台駅前行き	大阪南医療センター玄関口行き
8		36	44
9		36	44
10		36	44
11		36	44
12			
13		36	44
14		36	44
15		36	44
16		36	44
		8便	8便

現行の運賃表



試行運転前の運賃表

(小児運賃は大人の半額：端数は10円単位に切り上げます。)



(単位：円)

○モックルコミュニティバス利用実績【モックルコミュニティバス運行事業】

※平成14年7月より運行開始

年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
年間運行日数	263日	360日	359日	359日	359日	360日	359日	359日	359日
車両数(予備車1台含む)	3台	3台	3台	3台	3台	3台	3台	3台	3台
系統キロ	往復9.4km	往復9.4km	往復9.7km	往復9.7km	往復9.7km	往復10.3km	往復10.3km	往復10.3km	往復10.3km
利用者数(人)	29,945	47,326	48,402	46,877	46,885	50,675	52,421	53,728	56,411
利用者数前年度比(%)		158.0%	102.3%	96.8%	100.0%	108.1%	103.4%	102.5%	105.0%
1日当たり利用者数(人)	113.9	131.5	134.5	130.6	130.6	140.8	146.0	149.7	157.1
1便あたり利用者数(人)	7.1	8.2	8.4	8.2	8.2	8.8	9.1	9.4	9.8
運行総経費(千円)	25,774	35,476	35,545	35,684	35,782	31,075	26,955	26,731	26,806
運行収入(千円)	5,644	8,723	9,222	8,819	8,821	9,527	9,862	10,109	8,588
運行負担金(千円)	20,130	26,753	26,323	26,865	26,961	21,548	17,093	16,622	18,218(16,622は市負担、残りの負担額1,596は交通会議負担)
利用一人当たり運行経費(円)	861	750	734	761	763	613	514	498	475
利用一人当たり収入(円)	188	184	191	188	188	188	188	188	152
利用一人当たり市負担(円)	672	565	544	573	575	425	326	309	323

